

令和5年度地域防災アンケート調査結果

1 自治会に、防災に関する組織等を規定していますか？

している 222件

その内、自主防災組織の認定を受けていない自治会46件

2 自治会で令和5年度に実施された活動について、当てはまるもの全てにチェックをしてください。(以下は、自主防災組織育成事業補助金の対象となり得る活動内容です。)

- | | |
|--|-----|
| ① 防災訓練や避難訓練、消防・防災に関する講習会などを実施した。 | 124 |
| ② 会合などで消防・防災に関する呼びかけ、体制の確認を実施した。 | 189 |
| ③ 行事の際に、炊き出しを実施した。 | 40 |
| ④ 地域で夜回りや巡視、危険箇所や消火器の点検等を実施した。 | 83 |
| ⑤ 防災マップ、防災新聞等の作成や配布をした。 | 78 |
| ⑥ 班長等を通じて緊急時に連絡できる連絡網を作成して配布した。 | 174 |
| ⑦ 災害や火事の際に必要な物品を、自治会内の誰もが使えるようにしている。 | 158 |
| ⑧ その他 | 41 |
| ・ 避難情報発令時に、自治会内の危険箇所を見て回り、また、避難の呼びかけ、連絡網による全戸連絡などを行った。 | |
| ・ 毎年、安否確認訓練を実施している。 | |
| ・ 避難所移動の際、身体の不自由な人、独居老人は無論のこと、移動手段のない人のリスト作成と補助人の確保を定期的に見直しています。 | |
| ・ 小中学校合同で防災訓練をしている。 | |
- など

3 あなたの自治会で自主防災組織を設立するためには、どのような課題がありますか。(自治会のみ設問)

- | | |
|---|-----|
| ① 自主防災組織の作成要領がわからない。 | 98 |
| ② 毎年役員が変わるため、組織を設立する余裕がない。 | 175 |
| ③ 自主防災組織を設立する必要性がわからない。 | 31 |
| ④ その他（具体的にご記入ください） | 67 |
| ・ 話合いの場がない、自治会長の仕事を増やすことに抵抗がある。 | |
| ・ 地区に避難所がない。 | |
| ・ 会員の高齢化で、実質的に活動可能な組織を構築できるのか。 | |
| ・ 要綱はできても、実際に動かないと意味がない（町内会員の意見）。実情は、防災は公的機関が行うという古い考えの人もあり、その壁を破ることが難しい（組織体のようにはいかない面もある）。 | |

- ・ 組織を設立するほどの世帯数がない。

など

4 あなたの自治会を自主防災組織として市に申請するには、何がきっかけになると思われますか。(自治会のみ設問)

- | | |
|---|-------|
| ① 講演や研修等で自主防災組織の必要性を会員が知ること。 | 1 5 1 |
| ② 自主防災組織育成補助金の増額。(現在、資機材整備費：最大 30 万円、地域防災活動費：最大 5 万円) | 4 7 |
| ③ 職員等の派遣による、自主防災組織設立の支援。 | 7 1 |
| ④ 自主防災組織の必要性を感じない。 | 4 3 |

その理由

- ・ 自治会内で、役を増やせば自治会長の仕事が増えるだけ。
- ・ 普通の町内会役員を選出困難な中、この事まで行きつかない。
- ・ 防災組織を必要とする災害が起こっていない。
- ・ 軒数が少なく、高齢であるため、必要性は感じるが、先導者がいない。

など

- | | |
|--|-----|
| ⑤ その他 | 5 2 |
| ・ 近隣の自治会と合併して、主体となって活動できる人材を確保できれば、組織を立ち上げることも可能と思う。 | |
| ・ 住民のつながりが薄く、マンションの人がほとんどで、自主防災組織ができる状況にない。 | |

など

5 県や市などが行う防災活動への参加について、回答される方が把握している範囲でお答えください。(自主防災組織のみ設問)

- | | |
|---|-----|
| ① 県、市、消防署などが行う研修会や訓練などへ参加した方がいる。 | 8 6 |
| ② 消防署の予防活動(署員による個別訪問など)や福祉活動(民生委員などの個別訪問)へ同行した方がいる。 | 4 1 |
| ③ 防災の活動には参加していない。 | 4 7 |

6 「自主防災組織フォローアップ研修」として組織の運営や取り組みを支援するための研修会を実施しています。市が実施する研修会・勉強会等で、令和6年度に取り上げて欲しい内容やテーマについて希望がありますか。(自主防災組織のみ設問)

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① 組織を立ち上げて最初に行うべき活動とその実施方法 | 2 2 |
| ② 訓練(避難訓練、炊き出し訓練等)の実施方法 | 3 7 |

③ 日ごろ（平時）の取り組み内容とその方法	7 0
④ 組織運営の方法、組織のまとめ方と配慮すべきこと	3 2
⑤ 他の自主防災組織の取り組みの紹介	6 6
⑥ 自由意見による講師との意見交換	1 3
⑦ その他（具体的に）	1 6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に経験した人の講習が聞きたい（国内外） ・ 南海トラフ地震の被害想定と対策（事前～事後）、山口市の活断層の紹介 ・ 地域の事情にあった避難方法 ・ 高齢者、障がい者の避難方法、対策について 	

など

7 自主防災会の活動を充実させるために市へのご要望など、お気づきがありましたら ご記入ください。（自主防災組織のみの設問）

- ・ 若手の育成をどうするか、後継者の育成が急務、育成の助成制度等
- ・ 自治会に拠点施設がなく、避難所も防災物品を置く場所も出来ないので、準防災組織施設として避難所等を指定するか設けてほしい。
- ・ 避難所運営に必要な資機材を補充整備してほしい。
- ・ 防災資機材整備事業補助金は、各団体1回限りとなっているため、長期にわたる見極めが難しい場合は申請がしにくい。
- ・ 自分の身を守るために、最近の警戒レベルでは、住民の避難行動を行う機会が多くなる。現在の避難場所の分館等では、特に夜間では、距離的に困難である。施設の安全等考慮の上、地域の公会堂を一次避難所として指定していただきたい。
- ・ 防災活動への意識が低いので、何かの会合や親睦会の集まり事の時でない研修、訓練ができない。その際、30分でもいいので、講師に講話、消防からの訓練（デモ）をお願いしたい。

など